3

生野小学校　概要

生野小学校広域図

所在地

大阪市生野区舎利寺3-1-39

土地所有者

大阪市

敷地面積／延べ床面積

7,487.74㎡／5,851.97㎡

防火地域

準防火地域

用途地域

第1種住居地域

容積率

300%

建ぺい率

80%

アクセス

- JR大阪環状線 寺田町駅 東へ約1.5km
- JR関西本線（大和路線）東部市場前駅 北へ約1.5km
- 大阪シティバス　舎利寺バス停隣接

4

利用区画を示した平面図

活用可能スペース

- 校舎（屋上を含む。ただし、校舎棟屋上の一部太陽光発電設備、１階なかよしプレールーム、ふれあいルーム、いきいき活動室、防災備蓄倉庫は除く屋上含む。）
- その他の敷地（外構部分等）

用途指定スペース

- ふれあいルーム、いきいき活動室（校舎１階）
- 控室
- 防災備蓄倉庫

条件指定スペース

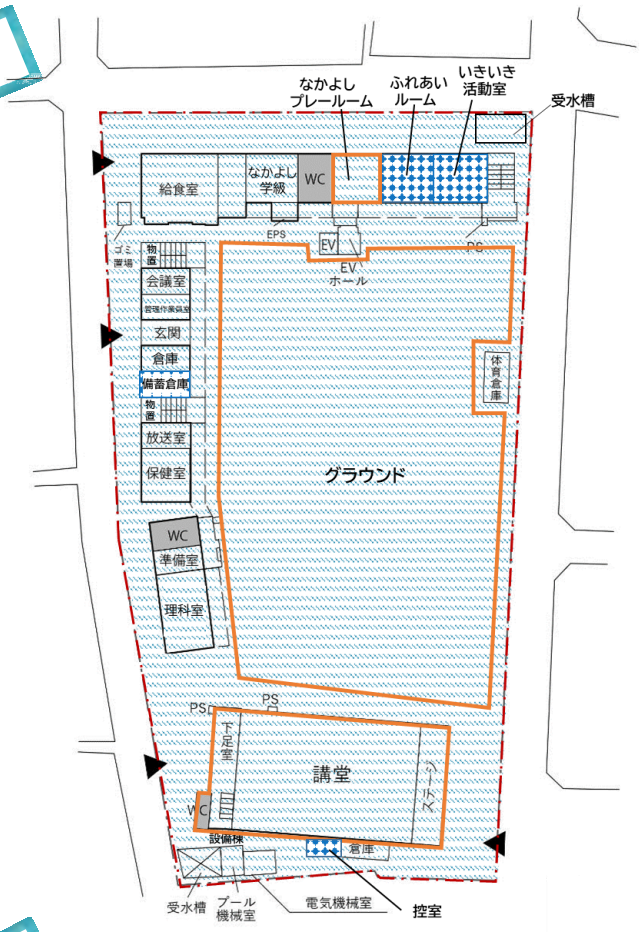
- なかよしプレールーム（校舎１階部分）
- 講堂
- グラウンド（遊具・体育倉庫等含む）

災害時には

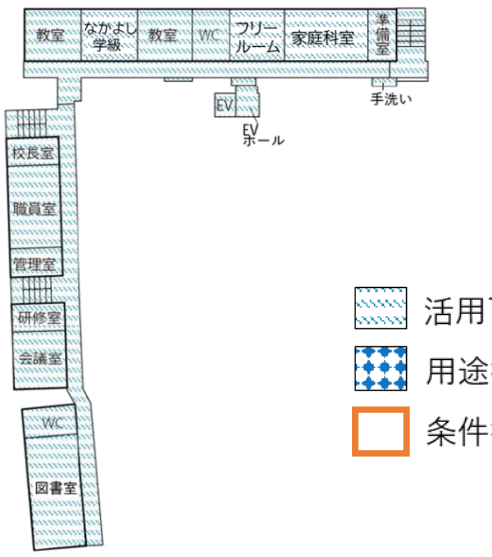
「校舎全体」
「講堂」
「グラウンド」
を開放する

ただし、運営上必要となる**運営管理スペース**
運営上最低限必要となる精密機器設置スペースは除く

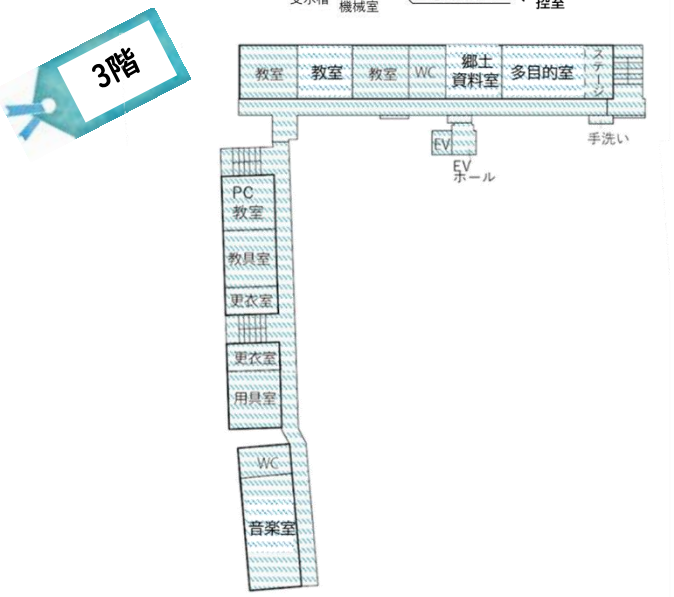
1階



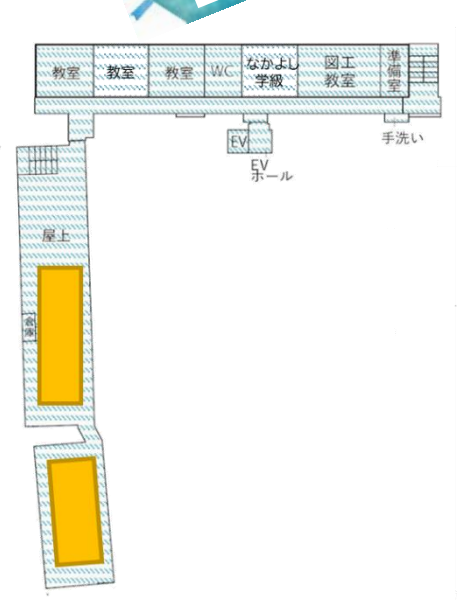
2階



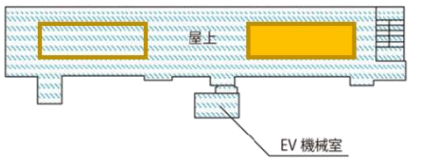
3階



4階



屋上(校舎)



活用可能スペース

用途指定スペース

条件指定スペース

太陽光発電設備（本市設置）
※活用可能スペースに含む

太陽光発電設備（民間事業者設置）
※活用可能スペースから除く

5 活用にあたっての考え方とマインド

活用にあたっての基本的な考え方

1 防災拠点
防災拠点としての機能を有することが大前提

2 地域コミュニティ
地域コミュニティ機能の継続

3 パブリックマインド(※)
パブリックマインドを有する事業者と地域連携・地域貢献

4 持続可能性
持続可能な跡地運営のスキームの導入

5 エリアへの波及力
校舎活用の「周辺エリアへの波及力」の視点

＋

学校跡地を核としたまちづくり構想の「学び」の視点

※パブリックマインド…国や社会の問題を自分自身の問題として考え、そのために積極的に行動するという公共の精神

活用にあたって求めるマインド

前提とするもの

- 災害時には避難所として開放するとともに、地域の防災拠点の機能を有するもの
- パブリックマインドを持った活用とし、地域と緊密に連携し、地域貢献に資するための地域コミュニティとしての機能を有するもの
- 基本的に校舎施設全体を一括して運営しつつ、かつ持続可能となるもの

望まれるもの

- 人々に居場所と持ち場を提供できる地域包摂的視点を有するもの
- 周辺エリアの特徴・文化を活かした様々な学びの機会や雇用の場の創出へとつなげ、生野区ならではの教育・仕事・暮らしをまち全体で育てていく拠点となるもの
- 周辺エリアとのつながり・波及と地域活性化が見込めるもの

生野小学校で特に望まれるもの

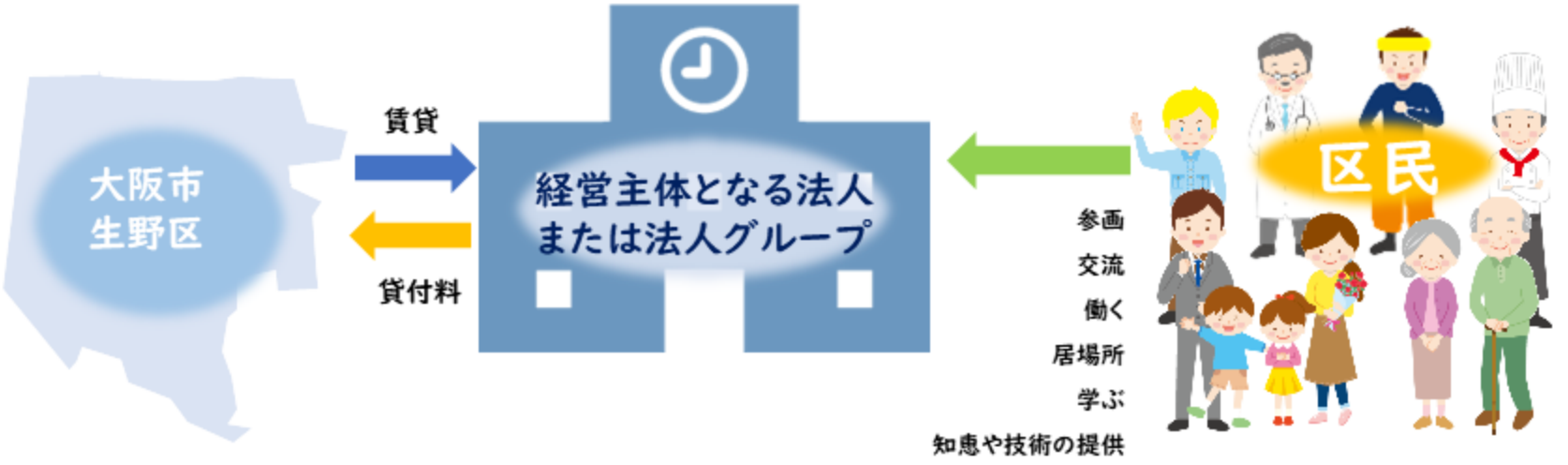
- 校舎周辺エリアの特徴を活かし、エリアとのつながり、波及が見込める教育機関など様々な学びの場となるもの

6 持続可能な運営スキーム

民間のノウハウを活用して、地域および行政との協働により、自律的で持続可能な運営を行います。

ひとつの事業者が区から施設全体を借り上げて運営する形態を基本

小学校全体の企画・投資・マネジメント



貸付方法	借地借家法上の定期建物賃貸借契約(建物) 民法上の賃貸借契約（建物敷地を除く土地）
貸付期間	25年間
貸付料	880,000／月（消費税及び地方消費税相当額を含む）

主な費用負担

負担者	費用項目
運営事業者	・事業に伴う改修・改装(初期含む)に要する費用
	・施設全体にかかる維持管理費
	・その他事業に伴う維持管理費等
本市	・施設の大規模修繕費用（外壁改修工事、屋上防水工事）

7 防災機能と地域コミュニティ機能

施設の運営にあたり、事業者、地域および行政の三者による協議体を設置し、施設運営全般（防災・地域活動含む）について協議します。

防災機能

災害時に地域住民が
安全に避難できるスペースに！

「校舎全体」と「講堂」「グラウンド」を開放する

開放対象から除くスペース
- 校長室、職員室等執務スペース
- 分電盤設備がある管理スペース
- 精密機器設置スペース

地域コミュニティ機能

地域活動を継続的に

これまでの地域活動についても、
可能な限り生野小学校跡地において
継続的に実施できるように調整

問合せ先

担当：生野区役所 地域まちづくり課
住所： 〒544-8501
大阪府大阪市生野区勝山南３丁目１－１９
TEL ：06-6715-9017
FAX ：06-6717-1163